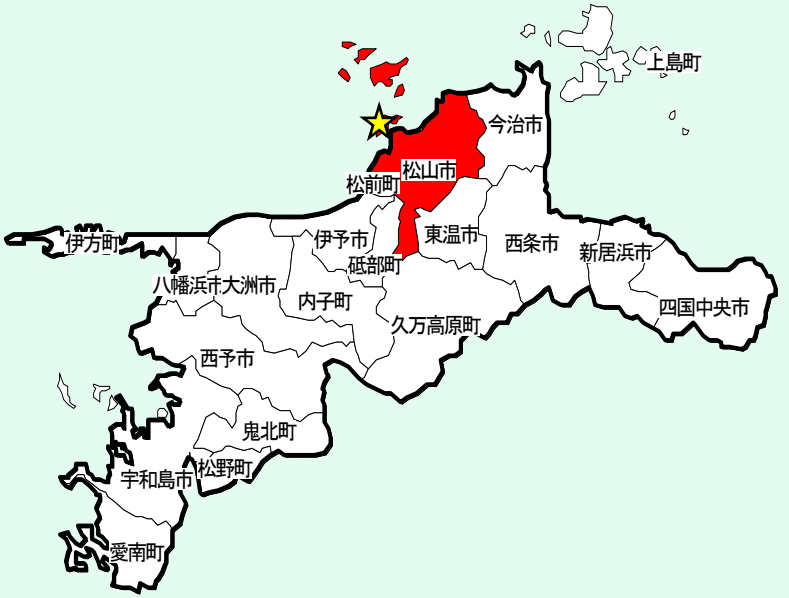
泊環境保全協議会

愛媛県　松山市

Ⅰ 地区概要

本地区は、松山市の北部の高浜港からフェリーで約15分の興居島にある。「伊予かん」「温州」「紅まどんな」などの柑橘栽培が盛んである。

高台からは、伊予(いよ)小富士をはじめ大小の山の連なりと、入り組んだ海岸線など素晴らしい眺めを一望できる。
島内には歴史ある神社・仏閣が数多く存在し、それらを巡って歩く楽しみがある。なかでも4月の島四国めぐりには多くの人が訪れ、島内の八十八ヶ所の札所巡りを楽しんでいる。



Ⅱ 活動組織の特徴

遊休農地を活用した恋人峠の整備や島の学校づくりなどに取り組む婦人会を中心に、果樹部会や町内会、青年部等が協力する形で組織化され、平成19年度から活動を行っている。

認定農用地面積：65.64ha（畑：65.64ha）

集落数：2集落　（農家戸数:69戸　農家以外の団体：7団体※）

※7団体は、町内会、婦人会、島四国古道保存会、泊消防団、ごご島里山作りグループ、青年部プランナー、地域活性団体しまいるを指す。

・婦人会を中心に組織された経緯を持つため、女性役員の数が多く、きめ細かな活動が実践できている。

・農家と地域住民との融和を図るべく、町内会、婦人会が本協議会に携わり、互いに連携した取り組みを図っている。

Ⅲ−1 主な活動

○地域資源の基礎的保全活動

中山間地域等直接支払交付金の認定農地との重複が多い。

⇒両制度の連携・役割分担

・農用地、水路、農道等の管理に係る活動

⇒多面的機能支払交付金を活用

・その他の農業生産体制の強化に係る経費

⇒中山間地域等直接支払交付金を活用

《多面的交付金の活用例》

イノシシによる農地侵入被害が多発

⬇

防護施設の維持管理及び補修工事を本協議会が実施することにより被害減少

Ⅲ−2 主な活動

○地域資源の適切な保全管理のための推進活動

【具体的な取り組み内容】

・平成27年度に「泊地区ふるさとづくりワークショップ」を実施

⇒本地区、水土里ネット愛媛、愛媛県中予地方局農村整備第一課、松山市農林土木課等を中心に企画（後ほど事例紹介）

・平成29年度～　興居島地区猪被害情報報告会を実施

⇒愛媛大学農学部の教授を招いて、意見交換会を実施

○地域農業の担い手の育成・確保

・人・農地プランの積極的な推進

農業委員会、行政、JA、農地中間管理機構等と連携

→農地、農業用施設を次世代に継承していくために地域農業において中心的存在である認定農業者、認定新規就農者、定年帰農就農者等への農地集積を推進

事例紹介

○泊ふるさとづくりワークショップ（平成27年度実施）

・自分たちのふるさとの点検や診断を行うプロジェクト
　→自分たちの地域を見つめ直し、自然や歴史、文化など地域の良さや魅力の再認識と、未来への伝承を目的に開催

１～３班に分かれ、各所を巡り地域の文化スポットの探索及び地域内の現状を把握、地域の改善すべき課題を提示

① 地域点検

島に点在する文化・歴史スポットや農地などを視察し、情報収集に当たっています。

② マップ作成

様々な年代で交流し、視察した内容からスポット・課題などをマップに反映させます！

③ 発表・情報共有

１～３班のマップが完成しました。各班で情報共有を行い、今後の地域づくりの参考としましょう。

Ⅲ−3 主な活動

○地域の共同活動で行う農地・施設の保全管理

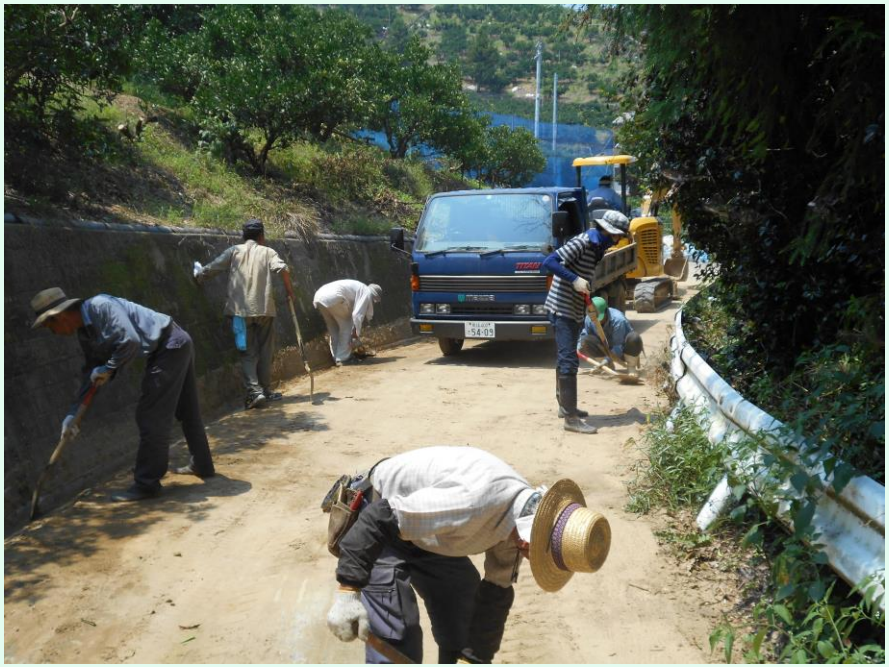
《多面交付金の活用例》

・平成30年の西日本豪雨災害の復旧

県道、市道、農道、水路は、いたる箇所が土砂崩れで寸断
農業者の多くも被災し、農地被害も多数発生…

《被害への対処》

- JA、町内会、農業者等で、「泊地区復旧・復興対策本部」を設置
  町内会が中心となり、道路の清掃・土砂物の運搬を実施
  →災害時における地域間の迅速な連携が復旧の早期化に寄与

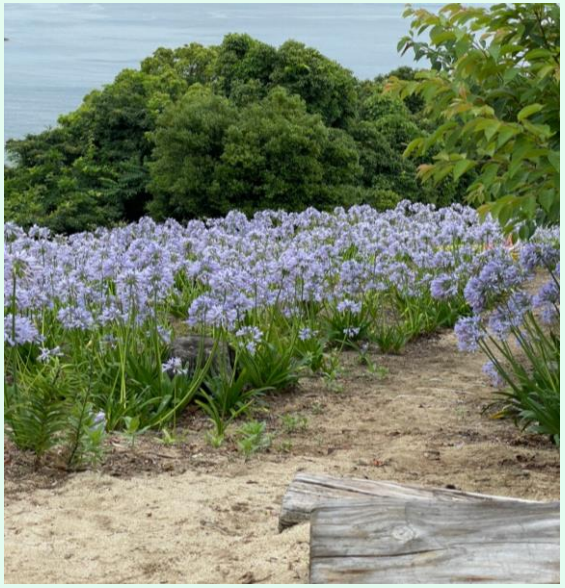


Ⅲ−4 主な活動

○継続的に行われている農村環境保全活動

・絶景スポットとして知られる恋人峠周辺の農用地、農道への景観植物（ガザニア、チューリップ）の植栽を実施

→遊休農地を活用して、農業者とごご島里山作りグループ、青年部、泊子供保護者会を中心に地域住民が一体となり、農村環境の保全を図る活動を推進



Ⅳ　取組の効果と今後の展開

《多面的機能支払交付金制度を受けた効果》
□ 耕作放棄地増加の歯止めに一定の効果がある。
□ 農業者と地域住民、老若男女異世代での交流が活発になる。

《今後の展開》
継続的な組織運営を行うためには、新たな担い手の確保が必要

□ 地域活性化には人、モノ、お金を動かしていくことが大切
⇒若い方、セカンドキャリアの方に興味を持ってもらえる様な魅力的な農業経営を実践する必要

（方法）
〇新規就農者、泊土地改良区理事や青年部プランナーに参画
〇松山市地域おこし協力隊や大学生との連携強化

若者との新たな連携

若者、セカンドキャリアとの連携を図るべく、令和3年度より松山市地域おこし協力隊の家弓氏や大学生で構成するNPO団体「地域活性団体しまいる」との連携を開始した。

令和3年度は清掃活動へ参加、互いに交流を深めた。
今後も清掃活動や景観保全活動など様々な形で連携を深めていく。

地域全体で支えあい、協働し合う

ご清聴ありがとうございました。